

地域ニュース

長門市長と長門大津地区農業法人連絡協議会との懇談会開催

長門大津地区では、農業従事者の高齢化の進行や耕作放棄地が増加する中、地域農業の担い手として集落営農法人の設立が進んできました。今年度は新たに2法人が設立し、現在14法人にて長門大津地区農業法人連絡協議会を構成しており、機械の共同利用、各種部会活動など積極的に活動を行っています。

今後、集落営農法人は長門大津の農業を牽引する組織として期待はますます高くなり、より一層の設立促進と経営の発展を図ることが重要になると予想されます。そこで、4月12日、大西倉雄長門市長と長門大津地区農業法人連絡協議会との懇談会を開催し、これからの長門大津の農業を考えるための意見交換を行いました。

はじめに長門大津地区農業法人連絡協議会の金子博会長が、自身が経営に携わる（農）河原を紹介しました。たまねぎや小麦のほ場を案内し、経営複合化の取組み、そして経営概況について説明を行いました。次に河原農業研修所に場所を移し、テーマを3つに絞った上で各法人から以下のように要望を行いました。

（要望事項）

- ① 水稻機械の更新について
- ② 鳥獣害対策について
- ③ 担い手に対する支援について

懇談会は終始和やかな雰囲気で行われ、最後は大西市長より、「農業を守るために皆さんと力を合わせて頑張りたい。県・市・JAが協力し、法人をサポートする体制を整備する。次回開催は懇親会と合わせて行いたい。」という貴重なコメントをいただきました。



参加者記念写真

原稿：長門大津地区農業法人連絡協議会

新任事務局紹介コーナー

この4月に山口県集落営農法人連携協議会の事務局となったJA山口中央会の職員を紹介いたします。



梶山 彬子

農業振興の最前線で活躍される皆様のお手伝いが少しでも早くできるようになりたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

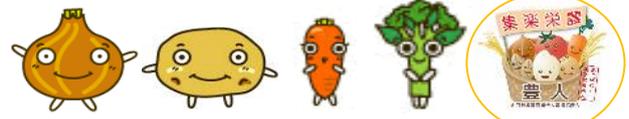


中村 周

これからの山口県農業を牽引していく法人協の事務局として、皆さまのお役にたてるよう精一杯頑張らせていただきますので、よろしくお願いいたします。

第16号

平成24年5月1日発行
編集局 JA山口中央会



集落営農法人だより

第4回 山口県集落営農法人連携協議会通常総会・研修会 開催

4月23日、山口市のセントコア山口で「第4回 山口県集落営農法人連携協議会通常総会・研修会」を開催しました。107会員（4月23日現在）のうち100会員（うち委任状38）が出席し、来賓として県、JA・各連・全国連県本部の役員がご臨席されました。総会では、3つの議案すべてを満場一致で承認した後、平成23年度山口県集落営農法人優良経営体表彰を行いました。研修会では、実践報告やDVDの放映により、先進法人の取り組みを学びました。



総勢約170名が集まった通常総会

～通常総会・次第～

1. 開会
2. 開会挨拶
3. 来賓祝辞
4. 出席人数報告
5. 議長選出
6. 議事
7. 平成23年度山口県
集落営農法人優良経営体表彰
8. 閉会

●開会あいさつ●



田中会長

法人経営には、安定性と継続性が求められることから、昨年は検討部会を立ち上げ、課題解決に取り組んできました。今後の発展のためには、法人設立を加速化させるとともに、法人間の協働や地域法人協議会同士の連携が不可欠です。

来年2月には島根県、広島県、大分県との4県サミットを開催するので、それを機に山口県から大きなうねりを引き起こしていく所存です。

●来賓祝辞●



中央会 山本会長

農業生産・集落のライフライン機能を有している集落営農法人はなくてはならない存在。今後もJAグループとして最大限の支援をしていく所存です。



県 村田審議員

集落営農法人の発展のためには、複合化や土地利用率の向上が重要。特定農業団体の法人化や農地集積、機械・施設整備等を重点的に支援してまいります。

●議 事●

＜第1号議案＞平成23年度事業報告および収支決算について

＜第2号議案＞平成24年度事業計画および収支予算について

＜第3号議案＞平成24年度会費について

⇒全て、原案どおり承認されました。（※議長：田中会長、議案説明：事務局 吉武）



事務局 吉武

昨年度は、各検討部会を中心に集落営農法人が抱える課題について検討・協議を進めてきました。今年度は、検討部会を軸としつつ、地域ごとに検討テーマを掲げてもらい、現場の実態に即した活動を支援していきます。基盤作り、意識改革、商品化、メディア戦略の一連の流れを見据え、人・物・金・情報の4つの経営資源の活用を目指します。

※スケジュール等の詳細は3ページのとおり。

●平成23年度 山口県集落営農法人優良経営体表彰●

優れた法人経営を行うとともに、協議会活動並びに地域農業の維持・発展に貢献し、他の規範になると認められた4法人を表彰しました。

- 「県知事賞」……………（農）いきいきファーム美和
- 「中央会会長賞」…（農）小国ファーム
- 「協議会会長賞」…（農）二条窪
（農）宇津木農産



「県知事賞」を受賞する
（農）いきいきファーム美和

●研修会：①実践報告●

「農事組合法人いきいきファーム美和の取り組みについて」
～言葉で励まし合い行動(実践)で支え合う志谷～

（農）いきいきファーム美和
代表理事 吉見 幸久 氏

エコファーマーの認定やJAの「安心システム米（きら星）」の販売等、高付加価値販売を目指しています。あわせて「地域の顔となる菓子加工」をテーマに掲げ、商品開発、ブランド化、販路拡大に努めており、「志谷庵のほっこりばあちゃん」という商標を取得しました。

また、毎月、「いきいきファーム美和」通信を発行し、法人の取り組みを組織内外にPRしています。人員不足の問題に対しても、「人材MAP」を作成するなど、積極的に取り組んでいます。

これからの夢は他法人や様々な人との交流・連携を通じた地域の活性化と地産地消の「志谷カレー」等の新商品の開発です。



取り組みを熱く語る
吉見代表理事

●研修会：②DVD上映●

農に大志を抱け～集落営農法人で夢を育てよう

本協議会が作成した県内の集落営農法人を紹介するDVDの上映を行いました。このDVDは、後日、会員法人に配布いたします。



DVDを見る出席者

●山口県集落営農法人連携協議会 ロゴマークお披露目●



この籠は、営農の基盤である集落を表し、その中でいきいきと「集落ぐるみ」で活動し、基幹作物である米・麦・大豆を中心に、たまねぎなど野菜を栽培している様子を表しています。

また、この籠は各集落営農法人が本協議会に参加するとともに、県内外へネットワークを広げてほしいという願いも包含しています。

※総会当日、ロゴマークが入ったクリアファイルの配布を行いました。ロゴマークのデータは後日、会員法人に配布いたします。

●平成 24 年度 活動スケジュール●

平成 24 年度山口県集落営農法人連携協議会活動スケジュール

月	県営活動 行事	経営複合化部会	経営管理部会	人材確保育成部会	地域活動
4	役員会 (4/5) 総会 (4/23)				ソリマチ農商簿記研修
5		基盤づくり			検討・協議 (ワーキング グループ活用)
6	経営戦略会議 表彰授賞式		7月 10日 EBO・コンサル検討① EBOの実践報告、コンサル発表		6/20まで 全国選出
7	ノウハウBook 作成依頼	8月 10日 女性の経営戦略検討② 経営戦略と組織体制について			共通テーマについては研修主催 者や提携など実践事例検討会
8	JAグループ との意見交換会	産産改革			
9		8月 21日 JGSP、マーケティング③ JGAPの活用と活用と連携ケース			
10	視察研修			11月 農た生との 意見交換会④	地域協議会 主催検討研修
11	県知事との 懇談会	商品化			地域協議会 主催検討研修
12	決算総会 研究会				地域協議会 主催検討研修
11		メディア戦略			
11		1月 メディア戦略 ⑤			地域協議会 主催検討研修
12	4 県総題別 検討会				地域協議会 主催検討研修
1	4 県サミット 開催				地域協議会 主催検討研修
2					
3					
4	総会				モリス研修の 創設・実施!